

廃止あかん

大阪市

5.17住民投票

日本共産党の山中智子大阪市議（市議団幹事長）の訴え要旨を紹介します。

私たちはいま 大阪 純新の会は一(1)大
阪市をバラバラには

人との激闘のなかにあります。街でよく「賛成派」と反対派の言うこと、どちらが本当なんですか」と聞かれます。思い出してください。2011年の府知事・市長ダブル選挙で、このときすでに大阪

日本共産党大阪市議会議員の平尾ひづみです。

山中 智子さん



超党派が集った市民大集会で発言する山中智子党大阪市議＝10日、大阪市

から大阪市をつぶそうとして、市民を憎み、大阪を憎んできた人に、「自分は市長をやった」なんて言つてほしくありません。 橋下さんはよく「ルールですから」「法治国家ですから」と言いますが、協定書をつくる過程で何をしてきたか。法定協議会から反対派を追い出し、正式な手続きで法定協の招集を申し入れた議会を無視し「外形的には違法だが違法行為ではない

地方自治法では「議員の4分の1が申し入れたら20日以内に開かないと不可以ない」と書いてあるんです。そんな人が言う「法治国家とすから」を信じてはならないと、街の方々にぜひ伝えてください。

で」と求めた高校生に「日本は競争の国。いやなら出ていくしかない」と言つた人が「子どもを大事に」なんて売名行為以外の何物でもありません。子どもを道具にするやり方を絶対に許してはいけないと思っています。

り、商店の方々です。そして何より誇るべきは、困っている人を放つておかない、「アメちゃんいる?」と声をかける人情です。私は22歳で大阪に来ましたが、こんなに人情あふれる良いまちはないと思っています。庶民が主人公の大坂じゃないですか。

大阪のこの大きな力を、中小業者や商店の皆さんのお営業と、庶民の福祉・暮らしの向上に使っていきましょう。その点で今、議会は是一致してきています。唯一違うのが橋下さんと維新の会です。